

平成25年度公共工事設計労務単価について

(平成25年4月2日)

平成25年度 公共工事設計労務単価の概要

I . 単価設定のポイント

- (1) 技能労働者の減少等に伴う労働市場の実勢価格を適切に反映
- (2) 社会保険への加入徹底の観点から、必要な法定福利費相当額を反映
- (3) 被災地等の入札不調の増加状況に応じて機動的に単価を引き上げるよう措置（被災三県について単価を5%引上げ）

→ 全国（全職種単純平均値）前年度比； +15.1%
被災三県（全職種単純平均値）前年度比； +21.0%

II . あわせて、技能労働者への適切な賃金水準の確保について各団体に要請

建設業団体あて

(1) 技能労働者への適切な水準の賃金支払

- ・ 適切な価格での下請契約の締結
- ・ 労働者への適切な水準の賃金支払を元請から下請に要請
- ・ 雇用する技能労働者の賃金水準の引上げ

(2) 社会保険等への加入徹底

- ・ 元請は、法定福利費相当額（労働者負担分及び事業主負担分）を適切に含んだ額による下請契約の締結する
- ・ 下請は、技能労働者に法定福利費相当額を適切に含んだ賃金を支払い、労働者を社会保険に加入させる

(3) 若年入職者の積極的な確保

賃金引上げと社会保険への加入により、若年入職者を積極的に確保

(4) ダンピング受注の排除

公共発注者あて

(1) 平成25年度公共工事設計労務単価の早期適用

(2) ダンピング受注の排除

低入札価格調査制度及び最低制限価格制度の適切な活用

(3) 法定福利費の適切な支払と社会保険等への加入徹底に関する指導

民間発注者あて

(1) 労務費の上昇傾向を踏まえた工事発注

これ以上の技能労働者の減少を招かないよう、必要経費を含んだ適正な価格による工事発注

(2) 社会保険料相当額の支払

労働者負担分及び事業主負担分の法定福利費を適切に含んだ額による工事発注

平成25年度公共工事設計労務単価について(主要12職種)

全国全職種平均(参考値)

15,175円

(単純平均値の前年度比; +15.1%)

被災三県 : 16,503円 (単純平均値の前年度比+21.0%)

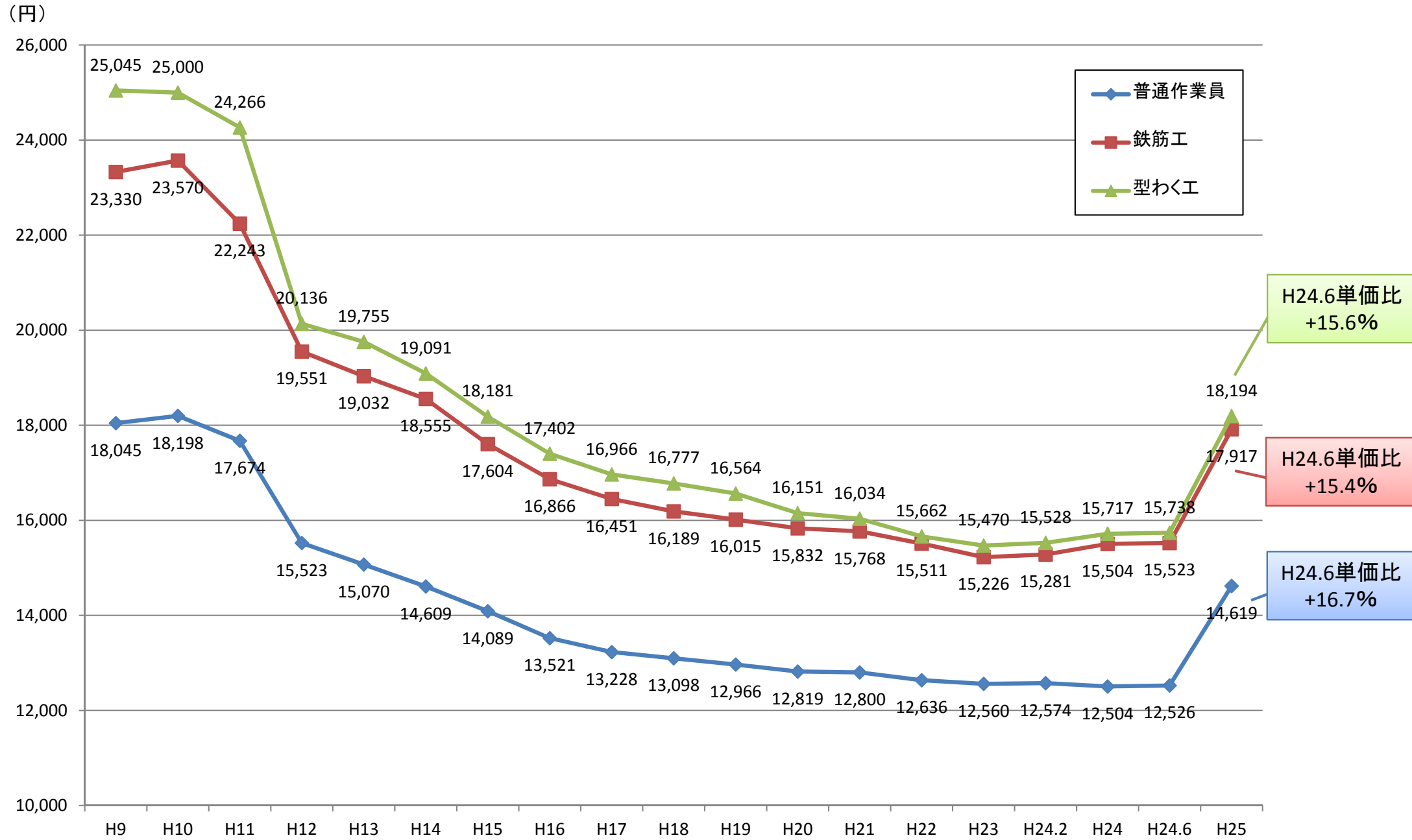
被災三県以外の都道府県 : 15,059円 (単純平均値の前年度比+14.6%)

全国全職種平均 : 15,175円 (単純平均値の前年度比+15.1%)

(円/1日8時間当たり、対前年度比(%))

	特殊作業員		普通作業員		軽作業員		とび工		鉄筋工		運転手 (特殊)		運転手 (一般)		型わく工		大工		左官		交通誘導員 A		交通誘導員 B		参考値 (斜字は全職種 単純平均)	
	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比	単価	対前比
北海道	15,400	14.9%	12,700	15.5%	10,600	15.2%	15,700	17.2%	16,000	17.6%	15,300	15.0%	12,800	15.3%	15,400	17.6%	16,500	17.9%	16,500	17.9%	9,100	15.2%	8,300	16.9%	13,226	17.5%
宮城県	19,500	26.6%	15,100	28.0%	11,900	28.0%	18,900	26.0%	22,400	26.6%	21,400	27.4%	19,200	27.2%	24,000	25.7%	21,000	26.5%	21,800	25.3%	10,600	20.5%	9,700	21.3%	17,180	21.1%
東京都	20,600	19.1%	17,200	22.9%	12,800	18.5%	22,000	18.9%	22,200	18.7%	20,200	18.1%	16,700	18.4%	20,200	18.8%	22,800	18.8%	22,300	22.5%	11,300	16.5%	10,100	17.4%	17,015	18.3%
新潟県	16,500	12.2%	13,600	11.5%	12,100	12.0%	16,300	14.0%	17,100	14.0%	16,400	12.3%	14,400	12.5%	16,200	14.1%	16,500	13.8%	16,200	14.1%	9,500	11.8%	8,700	13.0%	14,263	13.5%
愛知県	18,800	13.3%	16,100	17.5%	12,300	13.9%	19,700	13.2%	18,400	15.0%	18,600	12.7%	16,700	13.6%	19,900	13.7%	20,700	17.6%	18,400	15.0%	10,400	15.6%	9,400	13.3%	16,497	13.8%
大阪府	17,900	9.8%	14,700	14.0%	11,500	10.6%	20,100	11.0%	18,700	15.4%	18,500	10.1%	15,600	9.9%	20,200	15.4%	18,100	13.1%	18,000	15.4%	9,500	13.1%	8,500	13.3%	15,291	12.6%
広島県	16,600	10.7%	14,700	12.2%	11,000	11.1%	17,200	11.7%	17,000	11.8%	17,000	10.4%	14,400	10.8%	16,600	12.2%	16,900	11.9%	15,900	12.0%	10,200	13.3%	9,100	13.8%	14,650	12.0%
香川県	16,600	12.9%	14,700	13.1%	11,200	13.1%	16,100	13.4%	16,000	13.5%	15,900	12.8%	14,800	13.0%	16,300	13.2%	17,100	13.2%	16,900	13.4%	9,400	16.0%	8,600	17.8%	15,021	13.3%
福岡県	17,000	11.1%	14,500	16.0%	10,500	11.7%	16,700	13.6%	16,100	13.4%	16,400	11.6%	13,700	11.4%	16,100	13.4%	17,100	13.2%	16,300	13.2%	8,900	15.6%	8,100	14.1%	14,651	13.6%
沖縄県	17,000	9.0%	13,700	13.2%	10,400	13.0%	18,600	10.7%	16,900	11.9%	19,300	9.0%	17,000	9.0%	18,100	10.4%	17,700	14.9%	17,200	14.7%	8,000	11.1%	7,400	13.8%	15,351	12.3%
参考値 (斜字は全国 単純平均)	17,550	14.4%	14,538	16.7%	11,194	15.0%	18,431	15.1%	17,981	15.4%	17,773	14.5%	15,314	14.5%	18,356	15.6%	17,523	16.1%	17,493	16.6%	9,636	14.4%	8,932	14.8%	15,175	15.1%

公共工事設計労務単価の推移



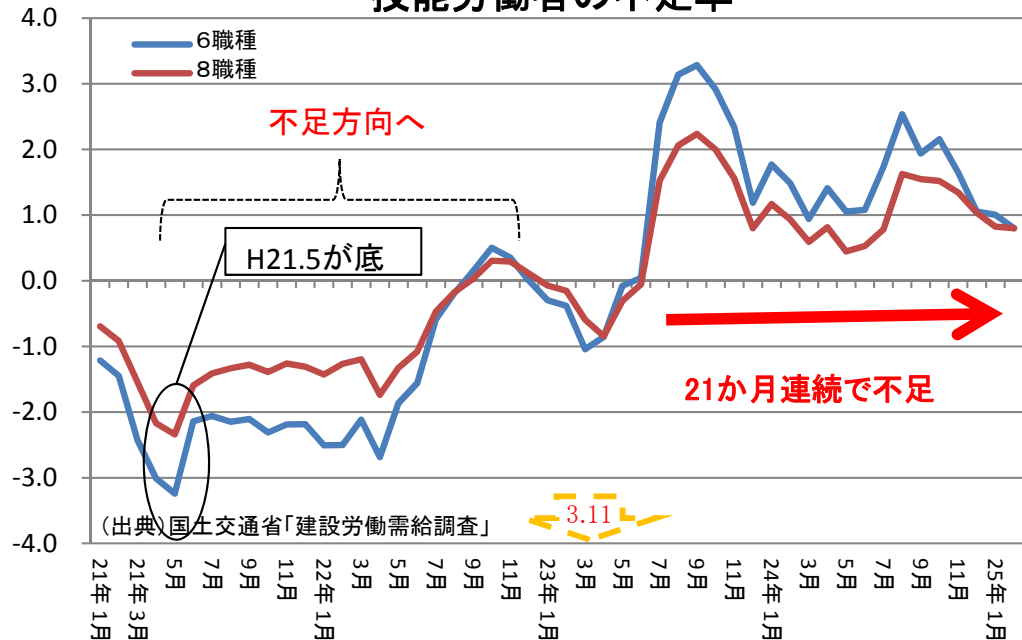
出所: 国土交通省「公共工事設計労務単価」
 ※数字は全国各都道府県の単純平均値

建設労働者の不足傾向、賃金の上昇傾向

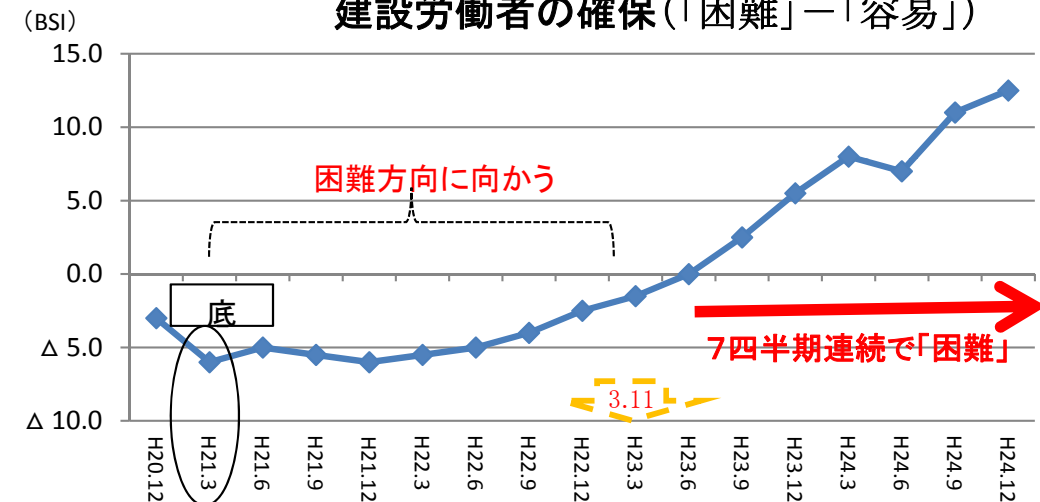
○ 労働者の不足傾向は、平成21年春から始まっている構造的な問題

○ 賃金の上昇傾向も、東日本大震災の前から始まっており、現在、全国各ブロックで顕在化

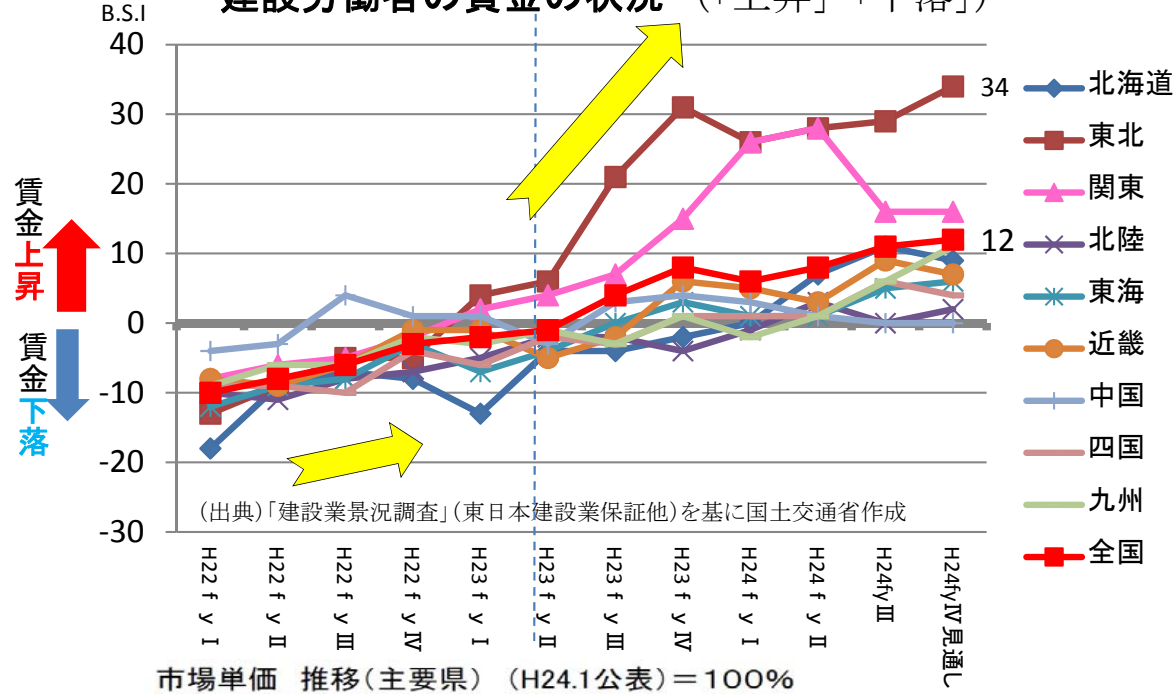
技能労働者の不足率



建設労働者の確保(「困難」-「容易」)



建設労働者の賃金の状況(「上昇」-「下落」)



○鉄筋工

刊行物種類
建築コスト情報(一般財団法人 建設物価調査会)

調査月	公表月	北海道	岩手	宮城	福島	東京	新潟	愛知	大阪	広島	香川	福岡
H22.8	(H22.10)	93.9%	86.1%	84.7%	86.1%	70.3%	97.1%	89.7%	101.9%	107.1%	93.8%	93.3%
H22.11	(H23.1)	93.9%	87.5%	86.1%	87.5%	78.4%	97.1%	89.7%	101.9%	107.1%	93.8%	93.3%
H23.8	(H23.10)	97.0%	93.1%	91.7%	93.1%	86.5%	97.1%	89.7%	96.2%	96.4%	96.9%	96.7%
H23.11	(H24.1)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
H24.2	(H24.4)	103.0%	111.1%	111.1%	108.3%	105.4%	105.9%	106.9%	113.2%	107.1%	100.0%	100.0%
H24.5	(H24.7)	103.0%	113.9%	113.9%	111.4%	108.1%	111.8%	106.9%	113.2%	107.1%	103.1%	103.3%
H24.8	(H24.10)	103.0%	116.7%	116.7%	113.9%	110.8%	111.8%	106.9%	117.0%	107.7%	103.1%	106.7%
H24.11	(H25.1)	103.0%	119.4%	122.2%	116.7%	113.5%	111.8%	113.8%	120.8%	114.3%	103.1%	110.0%

○型枠工

刊行物種類
建築コスト情報(一般財団法人 建設物価調査会)

調査月	公表月	北海道	岩手	宮城	福島	東京	新潟	愛知	大阪	広島	香川	福岡
H22.8	(H22.10)	100.0%	87.1%	86.9%	87.1%	88.3%	100.0%	89.3%	96.0%	98.0%	100.0%	97.8%
H22.11	(H23.1)	100.0%	87.1%	86.9%	87.1%	88.3%	100.0%	89.3%	96.0%	98.0%	100.0%	97.8%
H23.8	(H23.10)	100.0%	93.5%	93.4%	93.5%	98.3%	100.0%	96.4%	98.0%	98.0%	100.0%	100.0%
H23.11	(H24.1)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
H24.2	(H24.4)	100.0%	125.2%	127.9%	121.0%	126.3%	114.8%	117.5%	108.0%	109.8%	108.3%	104.4%
H24.5	(H24.7)	100.0%	129.0%	131.1%	124.2%	126.8%	117.7%	117.5%	108.0%	109.8%	108.3%	104.4%
H24.8	(H24.10)	106.0%	132.3%	134.4%	127.4%	128.5%	118.5%	117.5%	110.0%	111.2%	108.3%	108.9%
H24.11	(H25.1)	106.0%	135.5%	137.7%	129.0%	130.2%	122.2%	117.5%	110.0%	111.8%	110.4%	113.9%

公共工事設計労務単価の概要

○ 性格: 公共工事の予定価格の積算用単価

※ 個々の契約(下請契約における労務単価や雇用契約における労働者への支払い賃金)を拘束するものではない

※ 建設労働者等の賃金相当額であって、労働者に支払われない諸経費分は含まれていない

(諸経費分は、別途、共通仮設費及び現場管理費の項目で積算される)

○ 法令: 予算決算及び会計令第80条第2項

「予定価格は、契約の目的となる物件又は役務について、取引の実例価格、需給の状況、履行の難易、数量の多寡、履行期間の長短等を考慮して適正に定めなければならない。」

○ 設定: 毎年10月、国、都道府県、政令市等発注の公共工事に従事する建設労働者(約17万人)の賃金支払い実態を調査し、年1回、年度当初に設定。

○ 利用者: 国、地方公共団体、独法等が予定価格の積算に利用。

